

デジタルで変わるわたしたちの未来

便利になる くらしと産業

- もくじ -

デジタル技術がわたしたちを、世界を救う 02

この本の使い方 03

デジタル技術の進化で変わるくらしと働き方 06



食べもの

人とロボット、それぞれの
能力を生かすファミレス 08

インタビュー 北浦 麻衣さん 11



乗りもの

安全性と使いやすさが
より高まった鉄道 12

インタビュー 金田 幸治さん 15



乗りもの

決まったルートを走るバスが
自由に呼び出せるようになる 16



学び

学びの可能性が
大きく広がる学校 18

インタビュー 能城 茂雄さん 21



からだ

快適・安全な病院と
負担の少ない治療 22



農作業

これからの農業は
ムダなく簡単、スマートに! 26



水産業

データを最大限活用し
漁業の安定と成長を支える 28



ものづくり

日本が世界にほこる製造業
工場デジタル化で成長目指す 30



ものづくり

ベテランの技をデジタル化し
効率アップを図る建設現場 32



お金

お金もデータとなって
行き来する時代に! 34

さくいん 38

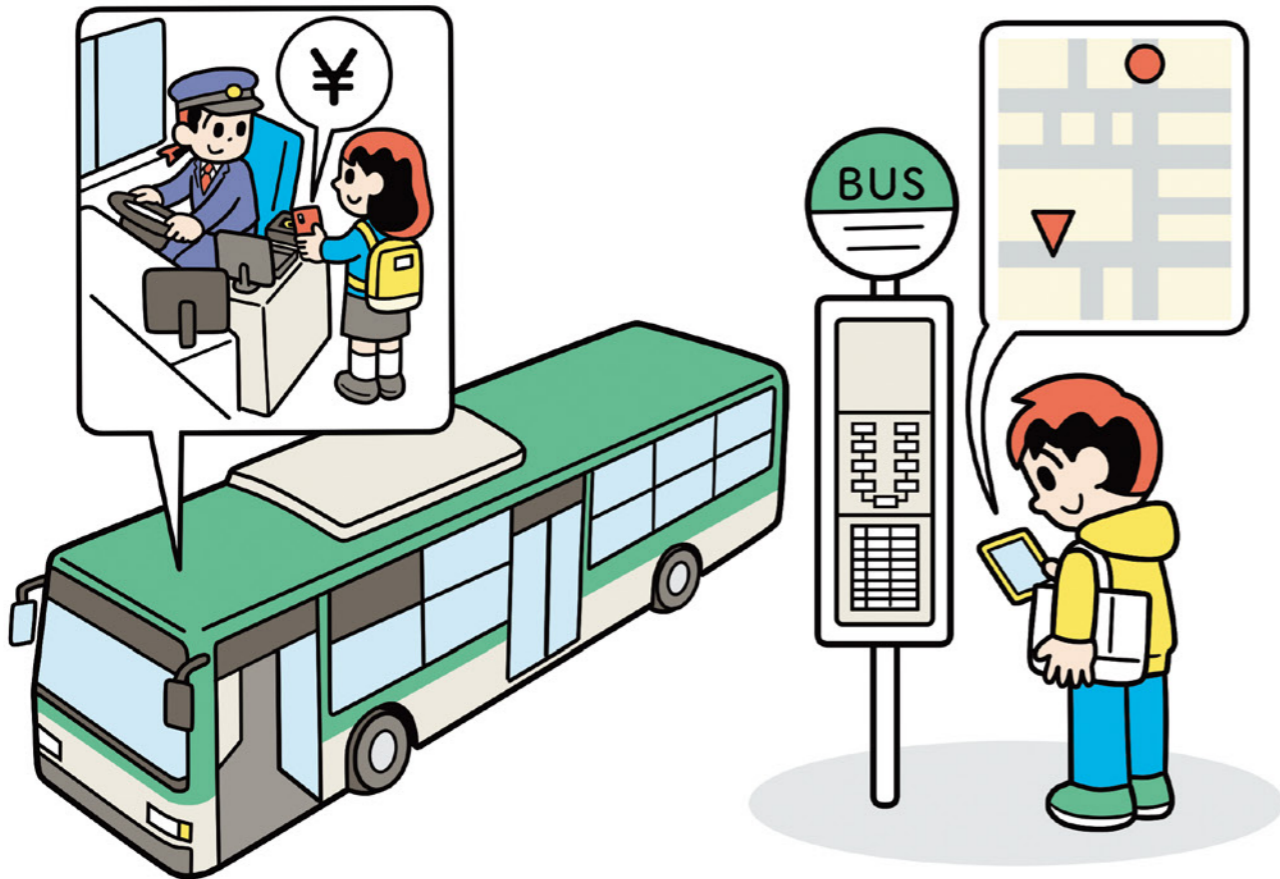
知っておきたい! デジタルキーワード 39

この本の内容や情報は、制作時点(2023年8月)のものであり、今後変更が生じる可能性があります。



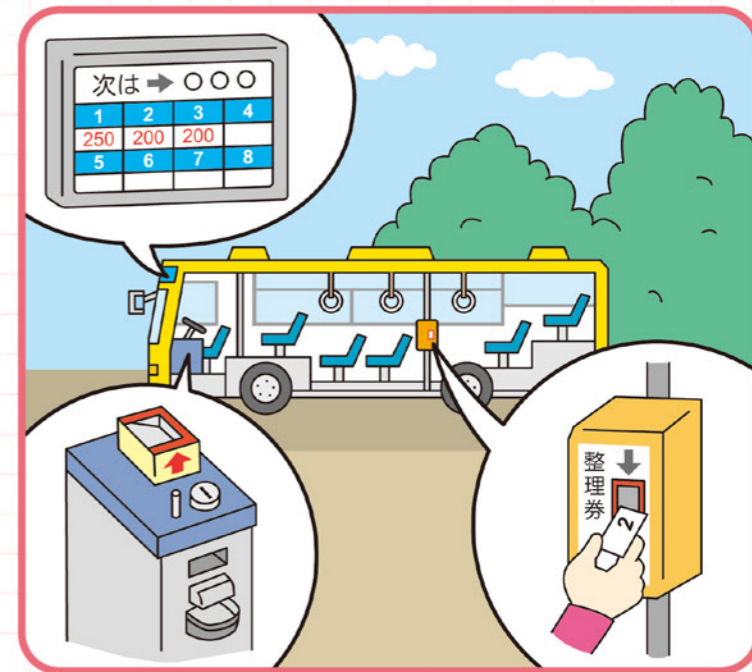
の 乗りもの

決まったルートを走るバスが自由に呼び出せるようになる



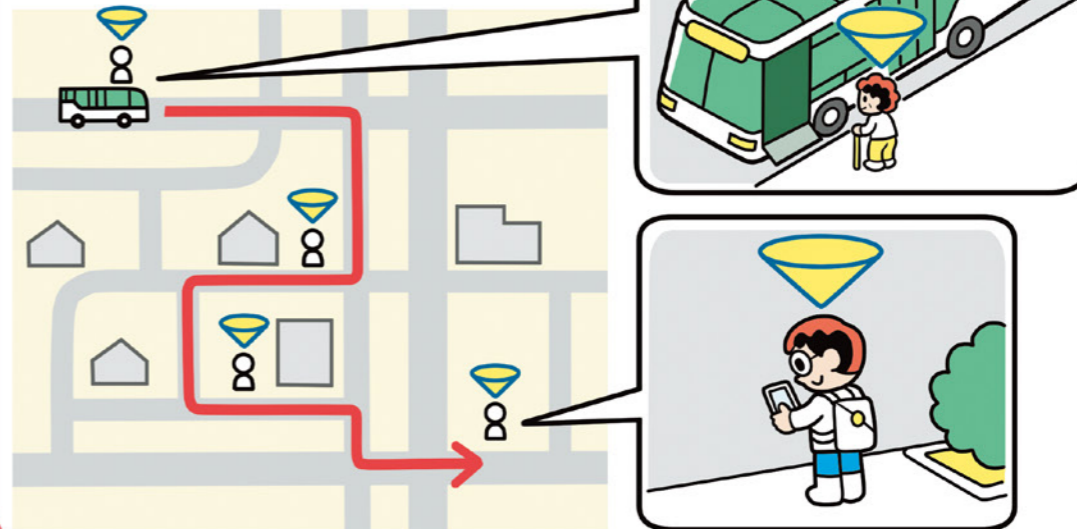
過去の定期的な運行が逆に不便?

乗車したら整理券を取り、車内にある運賃を表示した機械で自分の整理番号と同じ番号に表示される金額を現金で支払う、というのがふつうでした。バスは決まった時間、ルートを走るものなので、自分の予定と時間が合わなかったり、行きたい場所までに乗りつぎが必要になったりするなど不便があります。



未来 無人のリクエスト型最適経路バスが主流に!

自動運転車による無人周回バスの実証実験が始まっています。スマホの位置情報で無人周回バスを呼び出し、目的地まで連れて行ってもらえる未来も、そう遠くはないでしょう。



MaaS (Mobility as a Service)

鉄道やバス、タクシーなどの交通機関のサービスを1つのサービスとして結びつけ、より便利な移動を実現するしくみ。

リクエスト型最適経路バス

利用者が希望する出発地、目的地などに応じて、AI (人工知能) が最適な経路や時刻表を自動で作り、それに合わせて走るバスのこと。

現在 バスがどこにいるのかリアルタイムでわかる!

MaaSを活用して、道路の混み具合などの情報や、乗りたいバスが今どこにいるのか、いつ到着するかをリアルタイムで調べられます。また、バス料金の支払いには、交通系ICカードやQRコード決済などのキャッシュレス決済が使えます。



からだ

快適・安全な病院と 負担の少ない治療



オンライン診療

患者が病院や薬局に行かずに、スマホやパソコンなどを使って、予約から診察、薬の手配、支払いまでが行えるシステム。

手術支援ロボット

高画質で立体的な手術の画像を使い、人間の動きを正確に再現する装置。人の体への負担が少ない技術を使い、難しい手術ができるよう開発されました。

現在 病院へ行かずに 診察してもらえる！

オンラインで診察の予約ができるようになったり、患者の診察の記録を残すカルテが電子になりました。また、一部で始まっているオンライン診療が広まれば、病気で体がつらい時に病院へ行く手間や待ち時間がなくなります。

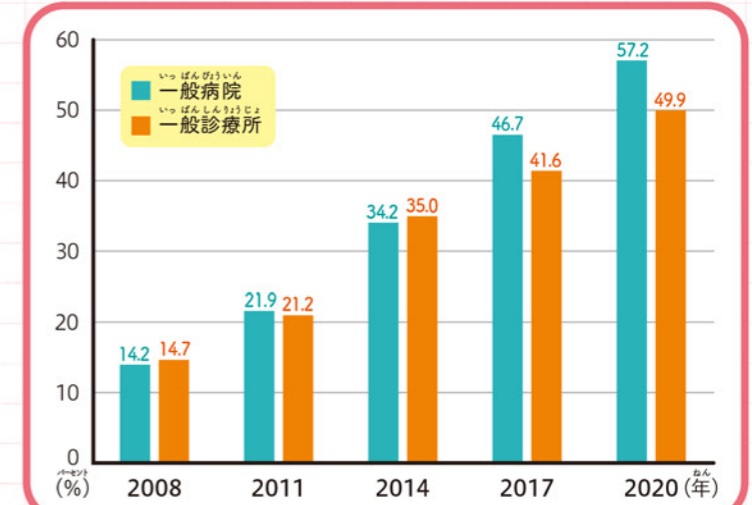
病院の デジタル化の象徴 「電子カルテ」

電子カルテは、患者が受付してからお金をはらうまでの情報を、病院の中で共有することができます。そのため、スタッフの仕事がスムーズに行えるだけでなく、患者は待ち時間の短縮につながるなどのメリットもあります。

病院のデジタル化はおこなわれていて、オンライン診療などは一部の病院でしか行われていません。しかし、電子カルテは約50%の病院が使っていて、日本の病院のデジタル化を見ていくうえで欠かせないものです。



電子カルテを使っている病院の割合



出典：厚生労働省「電子カルテシステム等の普及状況の推移」より作成

自動で薬を調合してくれる 「調剤ロボット」

処方データを入力するだけで、コンピュータが薬を選び、調合してくれます。使う薬がたくさんある場合は、使うタイミングごとに袋分けもしてくれます。



画像提供：株式会社ユヤマ